見つけよう！「前田まちのお宝」

～ガイドマップ2025～

前田ふれあいまちづくり協議会

凡例
- ：前田まちのお宝
- ：公園・緑地
- (A)～(G)：うら面の説明・写真
- ：前田連合町内会の区域

前田森林公園のカナール

展望ラウンジから手稲山に向かって600mのカナール(運河)がまっすぐに延び、両側の240本ほどのポプラが空を仰ぐ景色は、異国情緒を感じさせます。

展望ラウンジを背に、カナールから見る手稲山の景色も「前田のお宝」です。

このマップに掲載した「前田まちのお宝」は、地域の集いにご参加いただいた方々や、前田小学校や前田中学校の生徒さんをはじめ、広くみなさまから寄せられたご意見をまとめたものです。

マップに(A)～(G)と記載されているお宝は、うら面に説明と写真が掲載してあります。

2016アンケート結果から

「前田まちのお宝探検隊2016」に参加した小学生のみなさんに前田の好きなところを書いてもらいました。公園が最も多く、その中で意外と票を集めたのが「前田すみれ公園」。ゴリラのシーソーが人気でした。

旧軽川の桜並木と軽川の桜づつみ

前田のまちには、春になるときれいな桜が咲く公園がたくさんありますが、旧軽川沿いの桜並木や軽川の桜づつみも見どころです。

特に軽川の桜づつみは、平成元年に道内ではじめて「桜づつみモデル事業」として国の指定を受け整備され、川の両岸にわたって、エゾヤマザクラ、チシマザクラ、サトザクラなど9種類の桜が植えられています。

満開になると、とてもすばらしい景観となります。

旧軽川

軽川

モザイクタイルのある歩道

前田のまちには、花や木、動物や昆虫などの絵のモザイクタイルが敷かれた歩道があります。

石狩手稲線の前田4条と5条の歩道と前田あざみ公園の南側の歩道のところです。石狩手稲線の歩道には71枚、前田あざみ公園には6枚のモザイクタイルの絵が敷かれています。

前田のまちからの手稲山の眺め

～四季の移ろいを伝える手稲山～

これも「前田のお宝」です

夏

冬

新川の遊歩道のモザイク画

マップエリアの新川河川敷の遊歩道には、斜面にモザイク画があります。このモザイク画は、地域の小学生がデザインした絵をモザイクタイルにして設置しているものです。マップエリア内の河川敷両岸に13か所、計39枚のモザイク画があります。

デザインした児童の名前や学校名も書かれています。

モザイク画を探して河川敷を散歩すると、両岸で6kmほど歩くことになります。また、新川から見た夕日や市街地方面の景色も「前田のお宝」です。

遺跡がでたぁ!!

前田地区の住宅地造成にあたり、遺跡の発掘調査が行われました。(手稲区N295遺跡)

場所は前田7条11丁目2番、現在の前田公園のところです。発掘調査は、昭和59、60年に行われ、縄文～続縄文文化の竪穴住居5軒、お墓などが34個見つかりました。お墓の中からは、たくさんの土器や石器が発掘されました。

発掘した土器などは、現在、札幌市埋蔵文化財センター(中央区南22条西13丁目)に保管されています。